

## 今後の海外交流に必要なポジティブ3Cs

愛知県立津島高等学校 伊藤和明

### 0 はじめに

本校は120年有余の歴史をもつ伝統校であり、平成27年度に文部科学省から「SGH・アソシエイト校」の指定を受け学校全体でグローバル教育を推進している。

その一環として平成30年にタイ・バンコクの高校と姉妹校提携を結び、コロナ禍前の令和元年9月から、将来的な現地交流を目指してオンライン交流を開始した。さらにコロナ禍においては、令和2年度に姉妹校の生徒対象に工夫を凝らしたオンライン交流を継続し、その取組は外務省のウェブサイト「グローバル外交ネット」に掲載された。そして令和3年度にはJICAタイ事務所の現地職員とオンライン会議を開いたり、続いて中国・昆明市の女子高校の生徒とオンラインで意見交換をしたりするなど、常に新たなチャンネルを設けて交流を継続している。以上を踏まえ、次の4つに分けて本校の取組を発表する。



その取組は外務省のウェブサイト「グローバル外交ネット」に掲載された。そして令和3年度にはJICAタイ事務所の現地職員とオンライン会議を開いたり、続いて中国・昆明市の女子高校の生徒とオンラインで意見交換をしたりするなど、常に新たなチャンネルを設けて交流を継続している。以上を踏まえ、次の4つに分けて本校の取組を発表する。

### 1 コロナ禍前の海外交流等【令和元年(2019年)12月まで】

国際理解コースでは、1年次に英語合宿や地元行事への参加、2年次に豪州研修、小中学校への英語出前授業、市役所と連携し「市PR映画の英語字幕作成」等を実施。



平成29年、愛知県国際教育研究協議会会長校を務めたことを契機に、県知事の後押しがあり、翌年タイの高校と姉妹校提携。\*愛知県と良好な経済関係、時差を考慮

R元年(2019年)12月まで

H29年(2017年)夏  
バンコク研修(生徒6名引率)

- ・JICAタイ事務所
- ・JICAプロジェクトサイト
- ・JETRO(日本貿易振興機構)
- ・ワットスッターラム高校(MSR)

R元年(2019年)12月まで

R元年(2019年)8月【単独2泊】

- ・MSR訪問(学校間交流の内容確認)
- ・JICAタイ事務所訪問
- ・ワットポーなど観光名所訪問
- ・生徒引率を想定し、移動は全て公共交通機関使用

\*航空チケット、ホテル等個人予約

R元年(2019年)12月まで

R元年(2019年)9月  
MSRとスカイプによる交流  
【3年生が参加】

- ①自己紹介、簡単な挨拶
- ②iPadを持って学校案内
- ③卵を使用した料理実演
- ④体育祭オンライン見学



← 4回分の  
スカイプ  
(日・英)  
8枚

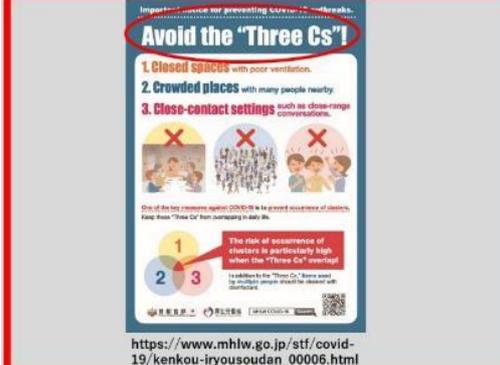
2 新型コロナウイルス感染症の流行【令和2年(2020年)1月から】

バンコク姉妹校(MSR)から、1月下旬開催の文化発表会(ACADEMY)で『日本人の一生』の展示で、「画像及びローマ字、日本語、英語での説明原稿」が欲しいとの依頼あり。その後、日本ではほどなく新型コロナ感染防止対策として学校が休業となり、日常生活では3Csを避けるよう求められる。4月からはバンコクとの交流が途絶えたものの、来るべきオンライン交流に向けて生徒とPCやスマホを活用した授業。それと並行してMSRの担当者と連絡を密にとり、7月からオンライン交流再開。

R2年(2020)年1月から

1月  
MSRからの依頼  
日本人の一生について知りたい  
節目ごとの画像、ローマ字、  
日本語と英語での説明

MSRとスカイプによる交流  
⑤1年生にバトンタッチ

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousudan\_00006.html

R2年(2020年) 1月から

4~5月 学校休業  
リモート授業を活用  
(3年生対象\*保護者の事前承諾)

- ①スカイプ交流に向けてPC/スマホ操作練習
- ②#1 集団での授業と個別英会話
- ③#2 同上
- ④#3 海外における入学時期情報交換
- ⑤#4 集団での授業と個別英会話

R2年(2020年) 1月から

7月から  
オンライン交流開始

- ①自己紹介
- ②普段の生活について質疑応答  
\*\*\*
- ③SDGsについて
- ④SDGsについて
- ⑤フリートーク  
\*\*\* JICA地球環境部 森田隆博氏来校

途中、JICA 地球環境部の森田隆博氏(本校卒業生、現 JICA タイ事務所長)による講演を開催。また MSR には、本校 120 周年記念式典(11月)でのメッセージを依頼。



スカイプ(日・英)、  
森田氏講演等 →  
16 枚



โรงเรียนมัธยมวัดสุทธาราม  
๑๙๖/๑ ซอยเจริญนคร๘๖ แขวงบางลำภูล่าง  
เขตคลองสาน กรุงเทพมหานคร

วันที่ ๓๑ กรกฎาคม ๒๕๖๓ 7月31日, 2563年  
(2020 + 543)

เรียน อาจารย์ใหญ่

ในนามของโรงเรียนมัธยมวัดสุทธาราม สำนักงานเขตคลองสาน กรุงเทพมหานคร ขอแสดงความยินดี  
ต่อนักเรียน คณะครู ผู้บริหารโรงเรียน และประชาชนผู้ปุ่น ในโอกาสครบรอบวันสถาปนาประเทศ ในปีนี้  
นับเป็นปีที่ ๑๒๐ ขอให้ประเทศไทยปุ่นซึ่งเป็นมิตรประเทศกับประเทศไทยมาอย่างยาวนาน จงประสบแต่ความสุข  
และความเจริญรุ่งเรืองยิ่งๆ ขึ้นไป

ขอแสดงความนับถือ  
นางพิชิตา เพ็ชรชู  
ผู้อำนวยการสถานศึกษาโรงเรียนมัธยมวัดสุทธาราม



4 新型コロナウイルス感染症とともに【令和4年(2022年)1月から】

1月中旬に中国との3回目の交流を予定していたが、中国側の感染状況悪化で中止。そこで JICA タイ事務所に再交流を依頼し、日本人スタッフによる講座を受講。

令和4年(2022年) 1月から

中国との交流(1月中旬)を予定

ところが 昆明市での感染状況が悪化

- ・元旦に授業
- ・期末試験を繰り上げて実施
- ・1月中旬から春節休みに入る

タイ事務所長の森田氏に依頼

→タイ事務所の契約スタッフの三好様(男性)の紹介を受ける

演題「タイに15年間住んでわかったこと」

→今回の件は、むしろタイ事務所の本来業務(広報)の一環としての位置付けとなるので全く問題ない

すると翌週には MSR から突然交流依頼あり。さらに5月には中国、7月には新たに JICA パキスタン事務所と交流が可能に。3Cs が第2フェーズへと深化。

バンコクの姉妹校とのオンライン交流

愛知県立津島高等学校  
2年生 国際理解コース  
令和4年(2565年)1月25日(火)

姉妹校ワットスターラム高校(WSS)とオンライン交流をしました

2022年1月25日(火)、本校2年生国際理解コースの生徒が、バンコクの姉妹校とオンライン交流をしました。本校からは10名、姉妹校からは70名が参加。バンコクでは分室交換の形となっているようで、学校から参加する生徒もいれば自宅から参加する生徒もいました。生徒は最初一言一言自己紹介をして、次の3つのトピックについて話しました。

- 1 英語の勉強(上達)方法
- 2 対話式英会話
- 3 コロナ禍での生活

1では、英語の先生(ML)と話し合いを多くしたり、音楽を聴いてリズム感を養ったり、2では、キャビンアテンダント、モデル、英語の先生、発音科、エンジニアなど様々な、3では、家で勉強したり、読書をしたり、食べ過ぎて休むが暇を過ぎて運動をしている、といったお話もあり、交流は非常に盛り上がりました。

2022 第1回 昆明市の女子高校とのオンライン交流

令和4年2月20日(金)

「昨年11月に実施した『Frindship』の後に、12月にはさらに『Partnership』という新たなミッションが実行されました。今年の交流はいつやるんですか?私たちの情報は何ですか?」3年生の、次は何をしたいのか?という声かけから始まりました。今年も中国側から、昆明市の女子高校とのオンライン交流、昆明と本校の授業時間差の関係で、全日日の午後(本校では、2年生の授業時間)にしか実施できない、かといっていきなり2年生が交流するのは難しい。そこで今回は特別に国際理解コース3年生を参加させました。

「中間の春節」は、いわゆる旧正月にあたる。その様子は、ほとんどの生徒がテレビやインターネットで見ることがある。春節に帰ってくる人もいれば、国内に旅行に行く人もいます。また、旧正月という習俗は、毎年、日にちが変わる。今年は2月1日が新年最初の日にあたり、その前日には大掃除。そして2月1日の朝に爆竹や花火を燃やして、新年の健やかさを祈る。その前日には大掃除。そして2月1日の朝に爆竹や花火を燃やして、新年の健やかさを祈る。その前日には大掃除。そして2月1日の朝に爆竹や花火を燃やして、新年の健やかさを祈る。

「お昼」の時間では、英語の先生(ML)と一緒に過ごすという内容を、イラストを用いて昆明におかりややく観光。すると昆明からは「お昼はどの家にもあるものなの?」という質問が、これは、いい質問。お昼はどの家にもあるものなの?という質問が、これは、いい質問。お昼はどの家にもあるものなの?という質問が、これは、いい質問。

令和4年(2022年) 1月から

7月8日(金)

JICA パキスタン事務所

JICA 中部

津島高校

今後の海外交流に必要な  
ポジティブ新3Cs

Challenge + C  
交流が思うように進まない充電期間中にこそ、力を蓄える

Communication + C  
お世話になった方と信頼関係を継続しつながりを大切にする

Creativity + C  
周りの人や組織と協力して誰一人取り残さない姿勢を保つ

【今後の課題】

- ・生徒間での交流にどう踏み切るか(現地交流を行う準備として有効)
- ・どのように管理・運営していくか

E-mail、LINE、WeChat(微信)、ビデオ配信など

JICA タイ事務所、 → MSR、中国・昆明等 4枚

